

## 2 本県農業・農村の特徴

本県では、果樹を中心に、水稻、野菜、花き等が生産されています。果樹が農業生産額の5割以上を占め、生産量が日本一のぶどう、もも、すももをはじめ、おうとう、かき、りんご、うめ等多くの種類が栽培されています。

地域別にみると、甲府盆地の東部、西部では果樹栽培、中央部から南部にかけては、なす、スイートコーン等の露地野菜やトマト、きゅうり等の施設野菜の栽培、北西部では水田農業が中心に営まれています。八ヶ岳南麓や富士北麓では、高原野菜の栽培や畜産、峡南では茶の栽培が、さらに県内各地で、洋ラン、シクラメン、バラ等の花き類の栽培が行われています。

また、四方を山に囲まれ、約3分の2の農地が中山間地域にあるという不利な条件の中でも、生産性の高い農業が展開されていることから、10a当たりの生産農業所得は、全国でも常に上位に位置づけられています。

このような農業が営まれることで、本県の農村は多彩な景観を織りなし、「桃の花が一面に咲き誇る果樹園」、「傾斜地に広がるぶどう棚」、「周りの山々を背景に稲穂が実る水田」等の景観は、県民だけでなく来県者の心を潤す貴重な財産となっています。

主な県産農産物の生産量、全国シェア等

品目	生産量等	全国シェア	全国順位	備考
ぶどう	45,100 t	24.4%	1位	平成22年産
もも	47,900 t	35.0%	1位	平成22年産
すもも	6,580 t	31.5%	1位	平成22年産
おうとう	1,260 t	6.4%	2位	平成22年産
干し柿	2,256 t	20.5%	3位	平成20年産
クレソン	406 t	55.6%	1位	平成20年産
スイートコーン	9,220 t	3.9%	6位	平成22年産
夏秋なす	6,370 t	3.0%	12位	平成22年産
夏秋トマト	2,200 t	0.7%	30位	平成22年産
洋らん類	896 千鉢	5.1%	5位	平成22年産
水稻	27,900 t	0.3%	44位	平成22年産
肉用牛	7,240 頭	0.3%	37位	平成23年2月1日現在

農林水産省調査